

お知らせ

- 採用情報
- 調達情報
- 情報公開
- 公開講座・研修
- その他

感染症情報

- 疾患名で探す
- 感染源や特徴で探す
- 予防接種情報
- 災害と感染症

研究・検査・病原体管理

- 研究情報
- 検定検査情報
- レファレンス
- 抗生物質標準品の交付
- 感染症検体パネルの交付
- こちら研究部
- 画像・映像アーカイブ
- 感染研年報
- 国際協力

サーベイランス

- 感染症発生動向調査週報 (IDWR)
- 病原微生物検出情報 (IASR)
- 感染症流行予測調査 (NESVPD)
- 院内感染 (JANIS)
- 実地疫学専門家養成コース (FETP-J)

刊行・マニュアル・基準

- JJID 感染研究の国際学術雑誌
- 病原体検出マニュアル
- バイオリスク・ガイダンス
- 生物学的製剤基準

**【関連記事】**

[2011-04-26 - IASR2009年4月 腸管出血性大腸菌感染症](#)

[2014-05-21 - 保育園における腸管出血性大腸菌O111の集団感染事例—福岡市](#)

[2011-06-02 - ウエルシュ菌感染症とは](#)

[2011-06-07 - エロモナス・ハイドロフィラ/ソブリア感染症](#)

[2011-06-15 - カンピロバクター感染症とは](#)

[2011-06-16 - 急性出血性結膜炎とは](#)

[2011-06-17 - クラミジア肺炎とは](#)

[2011-06-17 - クリプトスポリジウム症とは](#)

[2018-02-22 - AIDS\(後天性免疫不全症候群\)とは](#)

[2011-06-20 - 細菌性髄膜炎とは](#)

[2011-06-20 - 髄膜炎菌性髄膜炎とは](#)

[2011-06-21 - サイトメガロウイルス感染症とは](#)

[2011-06-21 - サルモネラ感染症とは](#)

[2011-06-21 - ジアルジア症とは](#)

[2011-06-23 - 水痘とは](#)

[2011-06-23 - 性器クラミジア感染症とは](#)

[2013-05-07 - 風疹とは](#)

[2011-06-24 - 多剤耐性緑膿菌感染症とは](#)

[2011-06-24 - ダニ媒介性脳炎とは](#)

[2011-06-29 - 腸炎ピブリオ感染症とは](#)

[2014-10-17 - 手足口病とは](#)

[2011-06-29 - 伝染性紅斑とは](#)

[2011-07-07 - NAGピブリオ感染症とは](#)

[2011-07-08 - ノロウイルス感染症とは](#)

[2011-08-05 - ピブリオ・フルビアリス/ファーニシ感染症とは](#)

下痢原性大腸菌感染症とは

(IDWR 2000年第50号)

下痢原性大腸菌は5種類(腸管病原性大腸菌・腸管侵入性大腸菌・毒素原性大腸菌・腸管凝集性大腸菌・腸管出血性大腸菌)に分類され、その疫学、病原性についてはおのおの異なる。このうち腸管出血性大腸菌(EHEC)については別に項目を立てたので、そちらを参照されたい。

疫学**1)腸管病原性大腸菌(EPEC)**

先進国とは異なり開発途上国においては、EPEC は現在でも乳幼児胃腸炎の依然として重要な原因菌である。ブラジル、メキシコなど中南米を中心とした地域の乳幼児胃腸炎の患者からのEPECの検出が多い。EPEC 感染症は成人においても発生し、わが国においても毎年5～10件のEPEC による食中毒が発生している。

2)腸管侵入性大腸菌(EIEC)

EIEC 感染症は一般に発展途上国や東欧諸国に多く、先進国では比較的多い。その媒介体は食品または水であるが、ときにはヒトからヒトへの感染もある。現在、わが国におけるEIECの分離の多くは海外渡航者の旅行者下痢からである。

3)毒素原性大腸菌(ETEC)

ETEC は途上国における乳幼児下痢症の最も重要な原因菌であり、先進国においてはこれらの国々への旅行者にみられる旅行者下痢症の主要な原因菌である。また、途上国においてはETEC下痢症はしばしば致死的で、幼若年齢層の死亡の重要な原因である。ETEC の感染は多くの場合、水を介しての感染であると考えられている。わが国においては下痢原性大腸菌による食中毒事例のなかではETEC による発生件数がかつても多い。

4)腸管凝集性大腸菌(EAEC)

開発途上国の乳幼児下痢症患者からよく分離される。わが国ではEAEC 下痢症の散发事例はあるが、食中毒、集団発生事例の報告は少ない。比較的新しい菌群であり、自然界での分布も明らかでない。

表1. 下痢原性大腸菌の分類

1.	腸管病原性大腸菌(enteropathogenic Escherichia coli ,EPEC): attaching and effacing 病変を生じる。細胞接着性あり。
2.	腸管侵入性大腸菌(enteroinvasive Escherichia coli ,EIEC): 細胞侵入性を持つ。
3.	腸管出血性大腸菌(enterohemorrhagic Escherichia coli ,EHEC) または志賀毒素産生性大腸菌(shiga toxin-producing Escherichia coli ,STEC): 志賀毒素、エンテロヘモリシンを産生する。
4.	毒素原性大腸菌(enterotoxigenic Escherichia coli ,ETEC): 易熱性、耐熱性エンテロトキシンを産生する。
5.	腸管凝集性大腸菌(enteroaggregative Escherichia coli ,EAEC): EAST1 を産生する。細胞接着性あり。 EAST1=EAEC 耐熱性毒素

臨床所見

EPEC による症状は下痢、腹痛、発熱、嘔吐などで、乳幼児においてはしばしば非細菌性胃腸炎やETEC 下痢症よりも重症で、コレラ様の脱水症状がみられることがある。ETEC による主症状は下痢であり嘔吐を伴うことも多いが、腹痛は軽度で発熱もまれである。しかし重症例、特に小児の場合コレラと同様に脱水症状に陥ることがある。EPEC,ETEC 感染症における潜伏期間は12～72 時間であるが、それより短い場合もある。EIEC による症状は下痢、発熱、腹痛であるが、重症例では赤痢様の血便または粘血便、しぶり腹などがみられ、臨床的に赤痢と区別するのは困難である。潜伏期間は一定しないが、通常12～48 時間である。EAEC による症状は2週間以上の持続性下痢として特徴づけられるが、一般には粘液を含む水様性下痢および腹痛が主で、嘔吐は少ない。

病原体**1)腸管病原性大腸菌(EPEC)**

EPEC は培養細胞に原則として限局型接着(localized adhesion, LA、図1)をする。これはEPEC の持つEAF (EPEC adherence factor) プラスミドによるもので、腸管粘膜付着に関与する線毛(bundle-forming pilus,BFP) の形成による接着である。



図1. クリックすると拡大します。

その後、粘膜上皮細胞への付着に伴う微細絨毛の破壊、アクチンの重合による上皮細胞骨格の障害、細胞膜の陥没および破壊が生じ、いわゆるattaching and effacing (A/E) 傷害を引き起こす。

2) 腸管侵入性大腸菌 (EIEC)

EIEC の病原性は赤痢菌のそれと同じと考えられており、菌の粘膜上皮細胞への侵入、増殖、隣接細胞への伝播による上皮細胞の壊死、脱落、潰瘍形成や炎症像がみられる。赤痢菌と同様120～140メガダルトンの病原性プラスミドを保持する。

3) 毒素原性大腸菌 (ETEC)

ETEC は粘膜上皮細胞に付着するための因子 (colonization factor antigen, CFA) を有し、これを介して上皮細胞に接着する。粘膜上皮に接着した菌はそこで増殖し、易熱性エンテロトキシン (heat-labile enterotoxin, LT)、耐熱性エンテロトキシン (heat-stable enterotoxin, ST) の両方、またはいずれか一方を産生して下痢を引き起こす。

4) 腸管凝集性大腸菌 (EAEC)

EAEC の培養細胞に対する付着能は、EPEC とは異なる接着因子、プラスミドにコードされるAAF線毛 (aggregative adherence fimbriae) によるものであり、主として凝集型接着 (aggregative adhesion, AA、図1) をするが例外もある。菌が粘膜上皮細胞に接着した後増殖し、耐熱性エンテロトキシン (EAST1) を産生して下痢を惹起すると考えられている。

病原診断

患者便、原因食品から大腸菌を分離し、その生化学的性状、血清型を調べるとともに毒素産生性、細胞侵入性、細胞付着性などについて病原因子を調べる。病原因子の検査方法については培養細胞を用いた生物学的方法や標的遺伝子の検出による遺伝学的方法があり、各病原因子のプライマーを用いたPCR が一般的に応用されている。EPEC については培養細胞付着性、EAF プラスミド、BFP、eae 遺伝子の有無について調べる。EIEC では培養細胞侵入性、病原性プラスミドの有無、ETEC についてはLT,ST,CFAの有無、EAEC については、培養細胞付着性、AAF、EAST1の有無について調べる。

治療・予防

治療は基本的には赤痢やサルモネラ症と同様で、対症療法と抗生物質の投与が中心である。特にETEC 感染症の場合は脱水症状に対する輸液が必要となる。予防対策としては、食品からの汚染を避けるために、食品の十分な加熱、調理後の長期の食品保存を避けるなどの注意が大切である。また、発展途上国等への旅行では、飲水として殺菌したミネラルウォーター等を飲用するなどの心がけも必要である。ヒトからヒトへの二次感染に対しては、手洗いを徹底することで予防することができる。

感染症法における取り扱い(2012年7月更新)

「感染性胃腸炎」は定点報告対象(5類感染症)であり、指定届出機関(全国約3,000カ所の小児科定点医療機関)は週毎に保健所に届け出なければならない。

届出基準は [こちら](#)

食品衛生法における取り扱い

食中毒が疑われる場合は、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

(国立感染症研究所細菌部 寺嶋 淳)

[2011-08-19 - メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症](#)

[2018-01-29 - 百日咳とは](#)

[2011-09-01 - ブドウ球菌食中毒とは](#)

[2011-08-29 - マイコプラズマ肺炎とは](#)

[2011-09-01 - プレジオモナス・シゲロイデス感染症とは](#)

[2014-07-23 - ヘルパンギーナとは](#)

[2011-09-01 - ヘルペス脳炎とは](#)

[2017-06-07 - 麻疹とは](#)

[2014-05-16 - 無菌性髄膜炎とは](#)

[2011-09-01 - リステリア・モノサイトゲネス感染症とは](#)

[2011-09-01 - 淋菌感染症とは](#)

[2014-04-01 - 流行性角結膜炎とは](#)

[2011-09-01 - 突発性発疹とは](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集】下痢原性大腸菌 2011年現在](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】病原性大腸菌血清型と「他の下痢原性大腸菌」の検出報告状況、2001年～2011年8月](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】下痢原性大腸菌に関するアンケート調査結果報告](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】下痢原性大腸菌の分類の見直しについて](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】腸管凝集付着性大腸菌O126:H27による有症苦情事例—浜松市](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】非典型的病原血清型大腸菌\(O157:HNM\)が主因と推定された食中毒事例—熊本県](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】腸管毒素原性大腸菌O148の大規模広域食中毒事例の概要](#)

[2012-01-20 - IASR 33\(1\), 2012【特集関連情報】複数の給食施設を原因とした腸管毒素原性大腸菌O148による広域食中毒事例—横浜市](#)

[2012-02-24 - IASR 33\(2\), 2012【国内情報】馬刺しを原因とする食中毒—福岡県](#)

[2012-03-22 - 倉敷市における腸管毒素原性大腸菌O153:H12による集団感染事例](#)

[2011-04-06 - 飲食店を原因施設とするKudoa septempunctataによる食中毒事例—倉敷市](#)

[2012-05-24 - 高齢者関連施設で発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事例—石川県](#)

[2012-05-24 - IASR 33\(5\), 2012【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2012年4月現在](#)

[2011-04-06 - 腸管出血性大腸菌O111集団食中毒事例疫学調査の概要](#)

[2012-05-24 - 腸管出血性大腸菌O111による焼肉チェーン店での集団食中毒事件—富山県](#)

[2012-05-24 - 飲料水が原因となった複数の腸管出血性大腸菌による食中毒事例—長野県](#)

[2012-05-24 - 腸管出血性大腸菌O157、O145の混合感染が認められた食中毒事例—栃木県](#)

[2012-05-24 - 老人ホームで発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事例—千葉市](#)

[2012-05-24 - 腸管出血性大腸菌検出例の血清型別臨床症状、2011年](#)

[2012-05-24 - 食中毒疑い事例の検査で検出されたEscherichia albertiiについて—秋田県](#)

[2012-05-24 - Escherichia の新種E. albertii について](#)

[2012-05-24 - 2つの社会福祉施設で発生した腸管出血性大腸菌 O26 による集団感染事例—島根県](#)

[2012-05-24 - 保育所における腸管出血性大腸菌O26 集団感染事例—岐阜県](#)

[2012-05-24 - 2011年に人から広域に分離された腸管出血性大腸菌O157およびO26のPFGE/パターンのクラスター解析](#)

[2012-05-24 - 感染症発生動向調査からみた腸管出血性大腸菌感染症における溶血性尿毒症症候群、2011年](#)

[2012-05-24 - HUS 患者血清中の抗大腸菌抗体価の解析](#)

[2012-05-24 - ドイツを中心としたEAgg-EHEC O104:H4による大規模集団事例](#)

[2012-05-24 - 生食用食肉の規格基準策定に係る加熱条件の検討](#)

[2012-05-24 - 老人福祉施設における腸管出血性大腸菌O157集団食中毒事例について—福岡県](#)

[2012-06-20 - クドア食中毒総論](#)

[2012-06-20 - 三重県で発生したクドアを原因とする集団食中毒事例](#)

[2012-06-20 - 北海道で発生したKudoa septempunctataによる食中毒事案について](#)

[2012-06-21 - 生のヒラメを原因としたKudoa septempunctataによる食中毒事例 - 奈良市](#)

[2012-06-20 - IASR 33\(6\), 2012【特集】クドアとザルコシスティス](#)

[2012-07-19 - 牛との接触により感染したと推察された非定型性状の腸管出血性大腸菌O26:H11感染症例 - 山口県](#)

[2012-07-19 - 保育所で発生した腸管出血性大腸菌O157:HNMの集団感染事例 - 福井県](#)

[2017-04-21 - IASR 38\(4\), 2017【特集】食品媒介蠕虫症](#)

[2012-10-22 - 腸管出血性大腸菌O186:H-の集団感染事例 - 佐賀県](#)

[2012-10-22 - 腸管出血性大腸菌O157:H7によるHUS症例における血清中抗大腸菌抗体解析 - 佐賀県](#)

[2012-10-22 - 腸管侵入性大腸菌が原因と疑われた腸管毒素原性大腸菌O6による集団食中毒 - 豊橋市](#)

[2013-02-01 - セアカゴケグモ咬症とは](#)

[2013-05-22 - 白菜浅漬によるO157食中毒事例におけるIS-printing system解析例について](#)

[2013-05-22 - 感染症発生動向調査からみた腸管出血性大腸菌感染症における溶血性尿毒症症候群、2012年](#)

[2013-05-22 - 白菜浅漬による腸管出血性大腸菌O157食中毒事例について - 札幌市](#)

[2013-05-22 - 浅漬の食中毒事件を受けての漬物の衛生規範の改正等について](#)

[2013-05-22 - 腸管出血性大腸菌O157の発生動向の変化 - 2011年以降の牛肉・生レバー規制強化の影響について](#)

[2013-05-22 - 飲食店でのO157:H7 VT1&2食中毒発生事例 - 青森県](#)

[2013-05-22 - 保育施設における腸管出血性大腸菌O26集団発生事例 - 大阪市](#)

[2013-05-22 - プール水が原因と推定された腸管出血性大腸菌O26 集団感染事例 - 長野県](#)

[2013-05-22 - 腸管出血性大腸菌O26:H11 による保育園集団感染事例 - 倉敷市](#)

[2013-05-22 - 保育園で発生した腸管出血性大腸菌O103とO111の集団感染事例—新潟県](#)

[2013-05-22 - 保育園における腸管出血性大腸菌O145の集団感染事例—福岡市](#)

[2013-05-22 - 幼稚園でのO157:H- VT2集団発生事例—青森県](#)

[2013-05-22 - 中国北京ツア—参加者における複数の腸管出血性大腸菌感染症事例](#)

[2013-05-22 - 2012年に人から広域に分離された腸管出血性大腸菌O157およびO26のPFGEパターンのクラスター解析](#)

[2013-05-22 - IASR 34\(5\). 2013【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2013年4月現在](#)

[2013-05-22 - 腸管出血性大腸菌検出例の血清型別臨床症状、2012年](#)

[2013-09-24 - おにぎりを原因食品とするA群溶血性レンサ球菌による集団食中毒事例—愛媛県](#)

[2013-08-09 - <速報>おにぎりを原因食品とするA群溶血性レンサ球菌による集団食中毒事例—愛媛県](#)

[2013-08-26 - <速報>弁当を原因食品とするA群溶血性レンサ球菌集団食中毒事例—岐阜市](#)

[2013-09-24 - 弁当を原因食品とするA群溶血性レンサ球菌集団食中毒事例—岐阜市](#)

[2013-12-19 - 保育所における腸管病原性大腸菌O55:H7による食中毒事例—長野県](#)

[2014-01-23 - 野菜サラダを原因食品としたYersinia enterocolitica O8 による食中毒事例—東京都](#)

[2014-06-02 - ナグビブリオによる食中毒事例について—大分県](#)

[2014-05-21 - 保育園で発生した腸管出血性大腸菌O103とO26の集団感染事例—足立区](#)

[2014-05-21 - 焼肉店で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒事例について—川崎市](#)

[2014-05-21 - IASR 35\(5\). 2014【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2014年4月現在](#)

[2014-05-21 - 腸管出血性大腸菌検出例の血清型別臨床症状、2013年](#)

[2014-05-21 - 腸管出血性大腸菌による食中毒発生事例、2013年](#)

[2014-05-21 - スポーツ合同
合宿における腸管出血性大
腸菌O157集団感染事例につ
いて](#)

[2014-05-21 - 宮崎市内保育
所でのEHEC O26 VT1 &
O103 VT1混合感染事例](#)

[2014-05-21 - 保育園におけ
る腸管出血性大腸菌
O26:H11\(VT2産生\)による集
団感染事例—東京都](#)

[2014-05-21 - 腸管出血性大
腸菌の分子型別](#)

[2014-05-21 - 腸管出血性大
腸菌感染症における溶血性
尿毒症症候群、2013年](#)

[2014-06-02 - 2013年9～10
月に発生した食中毒事例に
おいて分離されたナグビブ
リオ株について](#)

[2014-06-02 - ナグビブリオ
による食中毒事例について
—石川県](#)

[2014-07-18 - 浜松市内にお
けるノロウイルス集団食中
毒事例](#)

[2014-07-18 - 多州にわたる
冷凍イチゴ関連ノロウイルス
大規模食中毒、2012年—ド
イツ](#)

[2014-12-19 - 飼育牛との接
触が感染経路と推定された
腸管出血性大腸菌O121感染
事例—兵庫県](#)

[2015-05-22 - 馬刺し関連腸
管出血性大腸菌O157
VT1&2食中毒事例—福島県](#)

[2015-05-22 - IASR Vol.36,
No.5 \(No.423\), May 2015 腸
管出血性大腸菌感染症
2015年4月現在](#)

[2015-05-22 - 腸管出血性大
腸菌検出例の血清型別臨床
症状、2014年](#)

[2015-05-22 - 腸管出血性大
腸菌による食中毒発生事例、
2014年](#)

[2015-05-22 - 蕎麦屋におけ
る腸管出血性大腸菌 O157
集団食中毒事例—千葉県](#)

[2015-05-22 - IASR 36\(5\),
2015【特集】腸管出血性大腸
菌感染症 2015年4月現在](#)

[2015-05-22 - 飲食チェーン
店における腸管出血性大腸
菌O26による食中毒事例—
新潟県](#)

[2015-05-22 - 花火大会関連
腸管出血性大腸菌O157
VT1&2集団発生事例](#)

[2015-05-26 - 同一保育園に
おける腸管出血性大腸菌
O145の2度の集団感染事例
—大津市](#)

[2015-05-26 - 2014年に分離
された腸管出血性大腸菌
O157、O26およびO111株の
MLVA解析について](#)

[2015-05-28 - 腸管出血性大](#)

[腸菌感染症における溶血性尿毒症症候群、2014年](#)

[2015-05-28 - 腸管凝集付着性大腸菌耐熱性毒素遺伝子\(astA\)保有大腸菌O166:H15が原因と考えられた社員食堂における食中毒事例について—大阪市](#)

[2015-07-21 - カンピロバクターのPenner PCR型別が有用であった食中毒疑い事例への対応—秋田県](#)

[2015-08-19 - 侵襲性髄膜炎菌感染症の発生動向、2013年第13週～2014年第52週](#)

[2015-12-22 - 複数州が関係する食品由来感染症アウトブレイク、2010～2014年—米国](#)

[2016-03-15 - NDM-5メタロ-β-ラクタマーゼ産生大腸菌ST410による国内感染事例](#)

[2016-05-20 - IASR 37\(5\), 2016【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2016年4月現在](#)

[2016-05-20 - 同一保健福祉環境事務所管内で連続して発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事例について—福岡県](#)

[2016-05-20 - 近畿の飲食チェーン店で発生した食中毒が疑われる腸管出血性大腸菌O157事例](#)

[2016-05-20 - 焼肉店における腸管出血性大腸菌O157集団食中毒事例—東京都](#)

[2016-05-20 - 高等学校寮における腸管出血性大腸菌感染症アウトブレイク事例—島根県](#)

[2016-05-20 - 保育園における腸管出血性大腸菌O26:H11の集団感染事例—大阪府](#)

[2016-05-26 - 2015年に分離された腸管出血性大腸菌O157, O26およびO111株のMLVA法による解析](#)

[2016-05-26 - PFGEによるO157, O26, O111以外の腸管出血性大腸菌における広域感染事例の解析](#)

[2016-05-26 - 腸管出血性大腸菌感染症における溶血性尿毒症症候群、2015年](#)

[2016-05-26 - Vero毒素産生株が散見される新興感染症原因菌 Escherichia albertiiについて](#)

[2016-05-26 - 集団感染事例から検出されたEscherichia albertii について—広島県](#)

[2016-05-20 - IASR Vol.37, No.5 \(No.435\), May 2016 腸管出血性大腸菌感染症 2016年4月現在](#)

[2016-08-17 - 牛生肉・牛生レバー規制強化後の牛生肉および牛生レバーを原因と](#)

[する腸管出血性大腸菌O157発生状況](#)

[2016-08-17 - 老人ホームで発生したSalmonella Nagoyaを原因とする食中毒事例について—千葉県](#)

[2016-11-22 - Kudoa hexapunctataが原因と疑われる有症事例の発生—新潟県](#)

[2016-12-22 - ニガナの白和えを原因食品とするEscherichia albertiiによる集団食中毒事例—沖縄県](#)

[2016-12-22 - 静岡県で発生したEscherichia albertiiによる食中毒事例について—同定までの経緯](#)

[2016-12-22 - HUS患者から分離されたstx2f陽性のEscherichia albertiiについて](#)

[2016-12-22 - コレラ, 2015年—WHO](#)

[2016-12-22 - <通知> Escherichia albertiiに係る報告について \(依頼\)](#)

[2016-12-28 - 冷凍メンチによる腸管出血性大腸菌O157 VT2の食中毒検査について](#)

[2017-01-23 - IASR 38\(1\), 2017【特集】ノロウイルス感染症 2015/16シーズン](#)

[2017-01-23 - 東京都におけるノロウイルスGII.17流行の分子疫学](#)

[2017-01-23 - ノロウイルスの流行と集団免疫](#)

[2017-04-21 - 東京都におけるアニサキス症とその対策](#)

[2017-04-21 - シメサバ寿司におけるアニサキスの寄生状況調査](#)

[2017-04-21 - アニサキスアレルギーによる蕁麻疹・アナフィラキシー](#)

[2017-04-21 - わが国における糸虫症の発生状況](#)

[2017-04-21 - わが国における肺吸虫症の発生現況](#)

[2017-04-21 - わが国における旋毛虫症](#)

[2017-04-21 - 輸入感染症としての食品媒介蠕虫症](#)

[2017-04-21 - 長野県の露店で発生したSalmonella Goldcoastによる食中毒](#)

[2017-05-24 - IASR 38\(5\), 2017【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2017年4月現在](#)

[2017-05-24 - 冷凍メンチカツを原因とする広域食中毒事例について](#)

[2017-05-24 - 冷凍メンチカツによる腸管出血性大腸菌O157 VT2の食中毒検査について—神奈川県](#)

[2017-05-24 - きゅうりのゆかり和えによる腸管出血性大腸菌O157の集団食中毒事例—千葉県, 東京都](#)

[2017-05-24 - サトウキビジュースが原因と推定された腸管出血性大腸菌O157広域散発食中毒事例について \(疫学調査\)—沖縄県](#)

[2017-05-24 - サトウキビジュースによる腸管出血性大腸菌O157広域散発食中毒事例におけるIS-printing system解析例について—沖縄県](#)

[2017-05-24 - 焼肉店の利用客における腸管出血性大腸菌O157の集団食中毒事例—滋賀県](#)

[2017-05-24 - 保育施設における腸管出血性大腸菌O26の集団感染事例—長崎県](#)

[2017-05-24 - 2016年に分離された腸管出血性大腸菌O157, O26およびO111株のMLVA法による解析](#)

[2017-05-24 - 腸管出血性大腸菌non-O157/O26/O111広域感染事例の分子疫学解析, 2016年](#)

[2017-05-24 - 腸管出血性大腸菌感染症における溶血性尿毒症症候群, 2016年](#)

[2017-05-24 - IASR Vol.38, No.5 \(No.447\), May 2017 腸管出血性大腸菌感染症 2017年4月現在](#)

[2017-06-23 - カナマイシン含有培地使用では検出不可能なウェルシュ菌による集団下痢症事例—東京都](#)

[2017-07-14 - 旅行中に発症し, 原因食品を同定し得なかったボツリヌス症の1例](#)

[2017-07-14 - 保育所で発生した腸管出血性大腸菌O26:H11による集団感染事例—福岡県](#)

[2017-08-24 - 宇都宮市で発生したEscherichia albertiiによる食中毒事例について](#)

[2018-01-26 - 奈良県における2016/17シーズンのノロウイルス検出状況](#)

[2018-02-15 - 長野県におけるA型肝炎の集団発生について](#)

[2015-05-11 - AIDS\(後天性免疫不全症候群\)とは\(2015年5月11日改訂\)](#)

[2015-01-29 - 炭疽とは 改訂作業中](#)